



中部歴史まちづくりサミットについて

この度、亀山市において「中部歴史まちづくりサミット」を、10月17日（木）～18日（金）の両日、開催いたします。

「中部歴史まちづくりサミット」は、歴史まちづくり法により認定を受けている全国38市町の内、国土交通省中部地方整備局管内の認定市の長が集い、交流、情報交換を図るものであり、昨年10月、岐阜県高山市で第1回が開催され、本年が2回目となります。

本年のサミットは、国土交通省中部地方整備局と亀山市が主催し、高山市、犬山市、恵那市、美濃市、明和町、岐阜市を加えた7市町が参加します。

亀山市文化会館大ホールで、三重大学大学院工学研究科 浅野聡准教授により基調講演をいただくほか、参加市町の首長が参加する「歴史都市の防災」や「歴史都市の観光」をテーマとしたパネルディスカッションや観光交流の連携した推進、災害時の歴史・文化資産の復旧への相互応援などを内容とした合意書の締結を行います。また、18日（金）には、亀山市歴史的風致維持向上計画に基づく、亀山城周辺保存整備事業などの事業成果をご覧ください予定です。

亀山市としては、平成26年度が「亀山市歴史的風致維持向上計画」が平成21年に認定を受けてから5周年に当たること、また関宿が重要伝統的建造物群保存地区に選定されて30周年の記念の年であることから、記念事業の一環として取り組むものであります。